



6 中埜(なかぞね)NETクラブ

設立の趣意

近代の都市化や生活の利便化により、日常生活から「体を動かす」機会や場が減少するとともに、社会の複雑・高度化、高齢化等への急激な進展、生活水準の向上や自由時間の増大等の社会環境の変化、仕事中心から生活重視への変化など中でスポーツやレクリエーションの重要性がますます高まっています。

シンボルマーク

鳩は地域の人々の心をつなぐネットワークのシンボルとして全体のデザインは中埜の「中」の字とハートマークをイメージしたものです。

クラブ名の由来

中埜(美里町中埜地区)、N (Neighborhood … 近所・付近)、E (Everything … すべての・あらゆる)、T(Tie-up) 協力・連携。中埜のすべての人々の協力とネットワークを生かして活動するクラブです。

基礎 DATA

会員数 **650** 世帯

住所：〒987-0024
遠田郡美里町中埜字十二神 117
TEL：0229-34-2246 (三浦会長宅)
対象エリア：美里町中埜地区
対象エリアの人口：2,287人
教育環境：小学校／1校 110名
設立年月日：平成17年2月27日
設立母体：地区行政区長会
民協・社協

設立の過程

- 平成 14 年度
宮城県教育委員会より社会教育主事派遣。
- 平成 16 年度
小牛田町地域スポーツクラブ育成推進委員会設置。
中埜地区スポーツクラブ設立準備委員会設置。
小牛田町スポーツシンポジウム開催。
日本体育協会総合型地域スポーツクラブ育成推進事業受託。
平成 17 年 2 月 27 日 設立総会。
- 平成 18 年度
小牛田町と南郷町の合併により美里町となる。



活動プログラム

スポーツ・レクリエーション種目

グランドゴルフ、駅伝大会参加、地区スポーツ大会



活動施設

市町村公民館等施設

美里町中埜コミュニティセンター

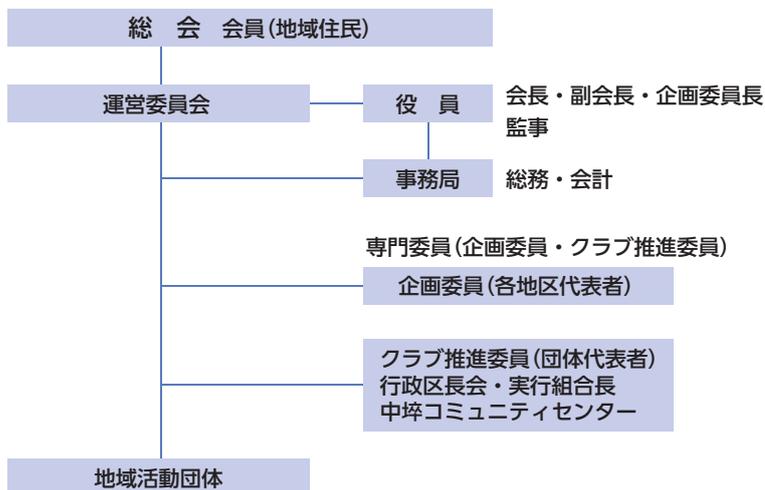
学校体育施設

中埜小学校

設立による効果等

- 地域住民間の交流が活性化した
- 世代を超えた交流が生まれた
- 地域の連帯感が強まった
- 地域が活性化した
- 地域で子どもたちの成長を見守る機運が高まった
- 元気な高齢者が増えた
- 子どもたちが明るく活発になった
- 地域住民のスポーツ参加機会が増えた
- 特に変わりがない

組織図



活動費

予算総額：380,000円

会費内訳(年会費)

1世帯300円×650世帯(地区負担金)



グラフ中の単位：千円